

平成 25 年度第 2 回日進市地域公共交通会議 議事録

日 時 平成 25 年 7 月 4 日 (木) 午前 9 時 30 分から  
 場 所 日進市役所本庁舎 2 階第 4 会議室  
 出 席 者 小塚みね子 (委員)、石川和美 (委員)、小塚秋弘 (委員)、鈴木義尊 (委員)、  
 近藤誠 (委員)、水野利子 (委員)、竹下啓 (委員)、  
 松本幸正 (会長)、仲龍典 (副会長)、都築基雄 (副会長)、古田寛 (委員)、  
 石川優 (委員)、加藤直樹 (委員)、小林宏 (代理出席)、西尾和晴 (代理出席)、  
 林由紀夫 (委員)、山内達郎 (委員)、古橋昭 (代理出席)、小林正信 (代理出席)、  
 鈴木正敏 (委員)  
 欠 席 者 岩月ミサヲ (委員)、大竹弘眞 (委員)  
 事 務 局 市民生活部生活安全課  
 傍聴の可否 可  
 傍聴の有無 あり (1 名)  
 報 告 事 項 (1) 平成 25 年度第 1 期の運行実績について  
 (2) 高齢者定期券の期間延長について  
 (3) 生活交通部会の結果報告について  
 議 題 (1) ルート図・時刻表の一体化について  
 (2) くるりんばすの点検・評価の見直しについて

そ の 他

発 言 者	内 容
	1 開会
会 長	傍聴者が 1 名お見えになりますが許可してよろしいでしょうか。 (異議なし)
会 長	それでは、入室してください。 (傍聴者入室)
	2 会長あいさつ
事 務 局	新たに委員となられた方に委嘱させていただきます。任期は、前任の委員の残 任期間となります。
	3 会長あいさつ
会 長	今日もくるりんばすの運行にあわせて 9 時 30 分からの開始となっております。 前回、委員の皆様には是非一度バスを利用させていただきたいとお話ししましたが、 今回で任期が切れてしまうということで残念に思います。 今日、市役所バス停のところに「50 万人達成」という張り紙がしてありました。 前回の会議で利用者が増えた中で特に若い方が増えている、というお話がありま

発 言 者	内 容
会 長	<p>した。それについて、案内のシルバーの方も、最近子ども連れのお母さんの利用が増えている、とお話してくださいました。よくよく考えてみると、最近のお母さんはスマートフォンをお持ちですから、うまく情報を検索して上手に使いこなしている人が増えているのではないかと、思います。</p> <p>一方、高齢者の方は新たな利用が増えるよりも、同じ方が複数回利用していただいている傾向があるということでした。</p> <p>こうしたことから、若い人向けにはインターネットやスマートフォン向けのサービスを充実させることで利用を促進することが、高齢者の方へは紙媒体での案内を充実させることが重要といえます。</p> <p>これもシルバーの方がおっしゃっていましたが、高齢者の方に紙媒体での案内をお渡ししようとする、と、文字が読めない、と受け取られないケースがあるとのことでした。</p> <p>本日も審議いただく案内図については、生活交通部会でのご議論を踏まえ、こうした問題点についても課題をクリアしたよりよいものを利用者の方にお示できると、思います。</p> <p>今後も利用促進に向けて皆様のご協力をよろしくお願いいたします。</p>
事 務 局	<p>それでは、会長に議事進行をお渡しします。</p>
会 長	<p>議事録署名者を順番により指名します。今回は林委員と山内委員、お願いします。</p>
(報告事項)	<p>(1) 平成25年度第1期の運行実績について  (2) 高齢者定期券の期間延長について  (3) 生活交通部会の結果報告について</p>
会 長	<p>報告事項の(1)及び(2)を一括して事務局より説明をお願いします。</p>
事 務 局	<p>報告事項の(1)現在の運行状況について、平成25年4月から6月までの3か月間の運行状況について報告いたします。</p> <p>資料の1ページ、2ページをご覧ください。</p> <p>利用者数につきましては、7コース合計、中央線共に前年度以上の利用をいただいております。また、コース別で見ると、南コースの伸びが非常に高く、過去4年間で最高の利用者数となっています。その他中コース、南西コースも昨年度は利用者が減少傾向にありましたが、今年度は回復傾向にあります。</p> <p>反面、西コースは昨年度から引き続き利用者数の減少が見られ、北コースも昨年度は利用が大きく伸びたものの今年度は昨年度を下回る結果となっています。</p> <p>運行収入につきましては、7コース、中央線ともに、昨年度から引き続き減少傾向にあります。</p> <p>コース別で見ると、昨年度より利用者が減少している西コース及び北コースでは収入も減少しています。</p>
事 務 局	<p>続いて(2)高齢者定期券の期間延長について、ご説明いたします。</p>

発 言 者	内 容
事 務 局	<p>先回の会議において、ご承認をいただきました高齢者定期券の期間延長の件につきまして、市内巡回バス利用料金取扱要領の文言の修正について事務局預かりとさせていただきます内容についてご報告させていただきます。</p> <p>資料の3ページをご覧ください。</p> <p>赤字の部分が、今回の追加修正箇所となります。</p> <p>内容としましては、(3)有効期間の項に今まで例示がございましたが、年末試行運行にあたり運休日の有効期間がわかる形での表示を検討しました結果、予定されない運休、つまり、災害等による運休でございますが、こうした場合は、運休した日数分、定期券の期間延長する、もしくは日割で払い戻す措置が必要ということでしたので、それ以外の運休において、つまり事前にわかっている運休においてはこの措置に該当しないということを明文化したものといたしました。</p>
事 務 局	<p>また、(8)継続購入の項については、一部文言に不整合な箇所がありましたので訂正いたします。</p>
事 務 局	<p>(9)払戻しの項は、災害等による運休に伴う日割払戻しではない、利用者都合による払戻しが該当することになります。</p>
会 長	<p>はい、ありがとうございます。ご意見ご質問がございましたらいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
委 員	<p>事前にご相談をいただいた際に、弊社の運送約款などの内容をお示しした内容を参照してまとめていただいたものとなっています。</p> <p>3(3)有効期間の欄の記載で、有効期限の次の日を起算日に1か月の定期券を販売する、とありますが、3か月、が正しいと思います。</p>
事 務 局	<p>ご指摘ありがとうございます。その上で、そうなりますと、1か月であれ3か月であれ次に買うときはどちらの券種にでも継続できる必要がありますので、「1か月又は3か月」に統一して訂正させていただければと思います。</p>
委 員	<p>(意義なし)</p>
会 長	<p>両方とも「1か月又は3か月」に訂正することとします。</p>
委 員	<p>3(3)の冒頭部分、「次の場合を除き、」は不要だと思います。</p>
会 長	<p>削除することとします。</p>
会 長	<p>それでは続いて、(3)生活交通部会の結果報告について、仲部会長からお願いいたします。</p>
部 会 長	<p>5月21日に開催されました、生活交通部会の結果についてご報告させていただきます。資料の4ページをご覧ください。</p> <p>皆様には活発なご議論をいただき、多くのご意見が出てまいりました。</p> <p>まず、1 ルート図全体についてですが、ルート図と時刻表が一体になることは非常に良い、というご意見がありました。</p> <p>また、駅周辺の拡大図は見やすくてよい。赤池駅以外の駅でも拡大図があるとよい、というご意見がありました。</p>

発 言 者	内 容
部 会 長	<p>また、参考資料として提供されました長久手市のシティマップ、東郷町のバスマップが見やすいのではないかというご意見がありました。</p> <p>それに対し、大量に情報を載せすぎると、逆に見づらくなるのではないか。あくまでバスマップなので、公共施設、公共交通について見やすいものがよいのでは。というご意見もありました。</p> <p>そのほか、それぞれの関係機関が周知する際に、あわせてバスの情報を提供してもらえるように協力を働きかけてはどうか。というご提案もございました。</p> <p>続きまして、2 商業施設等の情報の掲載について、です。</p> <p>広告料をとって載せることも検討してほしい、というご意見がございました。</p> <p>また、個人商店を載せないなら、大型スーパーの店名を出すことに配慮してほしい。というご意見に対し、名前がないと、高齢者は結局行きたいところに行けないのではないか。というご意見もございました。</p> <p>これについては、路線図の空きスペースを工夫し、利用者で店名等を書き込めるようにしては。というご提案もございました。</p> <p>最後に、3 その他 ですが、紙質によってすぐに破れると困るので、出来る限り良い紙がよい。というご意見がございましたが、これに対して、事務局より、紙の折り目が時刻表にかぶらないように配慮する。というご回答でした。</p> <p>以上、報告となります。</p>
会 長	出席者数は何名でしたか？
部 会 長	欠席者3名で、9名での議論でした。
会 長	利用者目線でのご議論がいただけたと思います。
( 議 題 )	<p>(1) ルート図・時刻表の一体化について</p> <p>(2) くるりんばすの点検・評価の見直しについて</p>
会 長	続いて議題へまいります。事務局より説明をお願いします。
事 務 局	<p>お手元にお配りしているルート図・時刻表の案をご覧ください。</p> <p>前回の会議及び先日5月21日に開催されました生活交通部会においても委員の皆様から多くのご意見をいただきましたルート図・時刻表につきまして、ご意見を反映した形で案を作成いたしました。</p> <p>まず、表面のルート図につきましては、駅周辺マップを掲載する上で、生活交通部会でご意見をいただきましたとおり米野木駅及び平針駅の周辺マップを加えました。ただし、長久手古戦場駅については、現段階では駅周辺に施設が少ないため、今後の状況に応じて掲載を検討することとしました。</p> <p>また、地図上には、病院及びスーパー等の位置について、マークで表示することとしました。</p> <p>右下の凡例をご覧ください。施設案内については、主な病院とスーパー等については、色つきのマークで、それ以外の主要な施設については少し小さめの記号で表示することとしました</p>

発 言 者	内 容
事 務 局	また、ルート表示については、双方向の3コースについて左右周りの区別がつかない、ということで、お問い合わせが多かったことから、区別して表記するようにしました。また、市内を通過している名鉄バス、名古屋市営バスの路線も合わせて表示いたしました。
	空きスペースに店の名前を書き込めるように、とのご意見もいただきましたが、スペースの確保が難しかったため、反映させることができませんでした。
	表紙部分には、交通系ICカードが利用できることをわかりやすくするためマークを掲載しました。
	時刻表につきましては、病院やスーパーが最寄にあることを示すマークをバス停名の後につけました。
	また、地下鉄、名鉄、リニモの時刻表を掲載しました。ただし、スペースの関係で、地下鉄、名鉄については平日の時刻のみを、リニモについては平日の第1ダイヤのみを掲載しました。
	また、折り目が時刻表のつなぎ目に来るように、レイアウトを調整しました。
会 長	ありがとうございます。以上が生活交通部会の意見を受けて反映した現在の案ということです。
事 務 局	本日欠席の委員から書面でご意見をお預かりしていますので報告させていただきます。 「くるりんばす利用者へ配布するマップ作成の際には、目印として挿入する施設名は公共施設に限定することが望ましいと考えます。具体的な商業施設名、ショッピングセンターなどが挿入された場合には、結果としてその商業施設に買い物を誘導するように受け取られることとなり、行政が配布するマップには相応しくないと思います。ただし、商業施設内に行政サービス施設が設置されていればその限りではありません。必要があればマップに空欄を設けて利用者に自ら目印となる施設名を記入してもらえば済む事だと思います」 というご意見をいただいています。
会 長	それぞれの立場でそれぞれのご意見があるかと思いますが、利用者にとって何が良いか、ということが一番重要だと思います。そうしたことを踏まえながら、ご意見如何でしょうか。
委 員	鉄道の時刻表とバスの時刻表の違いが分かり難いので、色を変える等もう少し違いをはっきりさせてはどうか。
事 務 局	下地の色を変更する事で対応したい。
委 員	(休日ダイヤの) ピンク色の文字がにじんで読み辛い。
事 務 局	資料用ということで印刷精度が低いものとなっている。本来の印刷物では鮮明なものとなる予定。
委 員	地下鉄の時刻表だが、平針駅と赤池駅の時刻表がどちらも同じ行き先となっているが、両方載せる必要があるのでしょうか。

発 言 者	内 容
会 長	ほとんどは1分差となっているが、ところによって違いもある。平針駅から地下鉄を利用する方は名古屋方面へ向かう利用の方が多いでしょう。
事 務 局	赤池駅の豊田市方面は名鉄電車ということで、名鉄電車の赤池駅ということで地下鉄とは仕分けて表示しています。平針駅の赤池・豊田市方面はスペースの都合もあり、割愛させていただいています。
会 長	赤池始発が分かると面白いでしょう。利用者からすれば地下鉄・名鉄の区分は関係が無い。このあたりをどのように取り扱うかがポイントでしょう。
委 員	時刻表の駅の欄が、色が変わって強調されており、バスに乗る際は、駅を基準に考えることが多いので、良い工夫だと思います。
会 長	その他の意見はございますか。交通事業者の立場からは如何でしょうか。
委 員	駅ごとに分けた方が判りやすいとは思いますが、ダイヤ改正の時期が異なるという点では判りにくくなる部分もあります。情報が多すぎても見難くなるため、民間バス路線の表示はこの程度でよいと思います。時刻表で確認していませんが、バス停で乗継ぎができるのであれば表示があると良いと思います。 あと、印刷の加減と思いますが、薄いグレーの印刷の記号が見難いと感じます。
委 員	右回り左回りの表示について、区別が付き難いように感じます。 もう少し判りやすくなりませんか。
事 務 局	新規に乗られる方が増えているという状況を受けて左右回りの表示をすることとしたものですが、判りやすさについては検討したいと思います。
会 長	この一体化したルート図では、どこを見たら右回り左回りがわかりますか？
事 務 局	裏面の時刻表に右回り左回りのバス停の順番が記されていますのでそちらで確認してもらえると考えています。
委 員	駅周辺の表示は非常に判りやすくありがたいと思いますが、もう少し小さくても判ると思いますので空いたスペースに市役所周辺の案内図を載せていただけたらと思います。
事 務 局	スペースの調整が可能かどうか検討します。
会 長	ルート図の方は、もう一回り字が大きくなりませんかでしょうか。
委 員	公共施設の案内として所在地（住所）と電話番号が掲載されていますが、その情報は必要でしょうか。この辺を整理されたらもう少し別の情報を乗せることが出来ると思います。
事 務 局	改めて検討します。
委 員	リニモに乗ったことが無い、という人がいるので、リニモの時刻表と合わせてリニモの駅も乗せてもらえたらと思います。
委 員	バス停の文字が小さいのでもう少し大きくしていただきたいと思います。
事 務 局	文字については工夫したいと思います。古戦場駅の周辺には現状施設等が無いので、地図を載せても目印となるものが無いので見合わせたいと思っています。

発 言 者	内 容
委 員	駅前開発の関係で道路の付け替えが行われているというのがあります。次回の改定の頃には商業施設も完成していることでしょうか、その時には載せては如何でしょうか。
委 員	古戦場のバス停は夜バスを待っていると怖いくらいです。
会 長	乗り方について記載をお願いします。後ろ乗り前降り後払い、という言葉だけでも結構です。
事 務 局	文字だけの表示であれば、ご利用案内のところに載せられると思います。
委 員	バスの放送で利用案内はできますか。
委 員	車外で聞こえるように放送することはできるはずですが。
委 員	自動放送で設定することは可能ですが、時間の都合もあるのですべてのバス停の乗降で、というのは難しいと思います。
委 員	後ろ乗り前降り、というのは、表紙の絵のところに記載してはどうでしょうか。
事 務 局	スペースについて調整させていただきます。
委 員	中央線については土休日はすべて平日と違うダイヤだと思えますが。
会 長	そのとおりですので修正させていただきます。
委 員	バス停の表示がわかりにくいということですが、コースの色が薄い色については白抜きの文字がわかりにくいのではと思いますので、文字色を黒にしているのでしょうか。
事 務 局	表現は統一した上で読みやすい表示となるように調整したいと思います。
委 員	東名高速道路の日進バスストップでは東京行きのバス等へ乗継できるので、そういった情報も掲載しては如何でしょうか。
事 務 局	赤池駅でJRバスの表示があると思いますが、こちらも高速バスのバス停となっています。日進バスストップでどのようなバスに乗れるのかを調べた上で掲載したいと思います。
委 員	複数の情報を掲載されるのであれば、各事業者のQRコードを掲載すれば、携帯電話などをご利用の方は情報を取得しやすいのではないのでしょうか。
事 務 局	くるりんばすのQRコードについては、日進市の携帯サイト内のくるりんばす時刻表を表示するようになっています。その他のものについても掲載できるか検討します。
会 長	数多くのご意見をいただき、ありがとうございます。皆様のご意見を事務局の方で反映させていただけると思います。それでは(2)くるりんばすの点検・評価について、事務局から説明をお願いします。
事 務 局	それでは説明いたします。まず、1.現在のくるりんばすの点検・評価の手順ですが、くるりんばすの点検・評価は、平成21年度に検討、作成した手順に基づき、平成21年4月より実施した双方向運行等の評価を踏まえ、課題の抽出と見直しの方向性を整理し、見直しの妥当性を地域公共交通会議において協議するものとしています。

発 言 者	内 容
会 長	平成21年度に作成した「くるりんばすの点検・評価の手順」では、平成20年度に行った見直しをPLAN、平成21年度からの見直しに基づく運行をD0、平成22年度に実施した利用者満足度調査等をCHECK、平成23年度以降行ってきた新たな改善策の検討をACTIONと位置づけており、4年スパンでのPDCAサイクルとなっております。
事 務 局	続いて、2. くるりんばすの点検・評価の見直しにあたって ですが、これまで、平成21年度の双方向運行といった運行形態の変更を伴う抜本的な見直しに対して、その効果と影響を把握するため、多様な視点から評価を実施してきましたが、
事 務 局	<p>その後一定期間が経過し、利用の定着がみられることから、点検・評価のサイクル及び内容について見直しを行う必要があると考え、今回提案させていただきました。点検・評価は、主に運行上の問題点や個別課題を点検する短期的評価（毎年度実施）と、主にくるりんばす全体の見直しを見据えた長期的評価（概ね3年ごとに実施）に分けて実施するものとします。</p> <p>3. 評価指標及び評価基準の見直し案 ですが、評価指標の設定にあたっては、バス利用者側の視点に立ったバスの利便性やサービス水準に関する「サービス評価」、サービス提供側の視点に立ったバス事業に関する「事業評価」、目標とする成果指標の達成度に関する「政策評価」の各視点に基づくものとします。</p> <p>また、路線存続の妥当性を判断する「維持基準」と路線の見直しや利用促進に向けた判断基準となる「見直し基準」に基づき設定します。</p> <p>短期的評価の評価指標と評価基準と、長期的評価の評価指標と評価基準の案をお示ししています。こちらはまだ案の段階であり、数値評価の基準については現在検討中であります。</p>
会 長	ご意見、ご質問がございましたらお願いします。
委 員	平成20年度に現在の形を作られたときとバスの目標が変わらないのか、変わるのかで指標が変わってくることとなります。経費について、周辺の自治体との比較する場合、サービス水準が異なるため、必要経費を単純に比較しても参考にならないでしょう。また、今後、消費税の問題が発生してきます。消費税の増加に伴ってその分運賃をあげないとすると、増税による影響を運賃収入では賄いきれないため、見かけ上経費が上がったように見えてしまいます。運行経費を経年で比較する場合は、税抜きの価格で比較する必要があるといえます。あとは、コミュニティバス事業が全国的に広がり始めてから5、6年が経過していますが、車両や待合環境の施設が傷み始める頃になるので、安心安全の観点について、チェックできると良いと思います。車両の更新には周期がありますので、年数だけでなく走行距離数でもって、トラブルの発生状況を確認してはと思います。
事 務 局	全体目標については、今のところ計画がございませんので位置づけについてどのようにするのかという課題はありますが、目標に合わせた指標設定が必要だと



発 言 者	内 容
事 務 局	<p>思いますので、改めて検討をいたします。サービス水準の違いについては、ご指摘のとおりと思いますので、そうした違いを加味して判断できる方法について研究してみます。消費税の問題については、見た目の増加で判断するとあらゆる施策がマイナスの評価となってしまうため、行政全体として統一的な方法で考えていくものと思います。</p> <p>車両の更新については、くるりんばすは、現在の車両が平成18年度より稼動しており、早いものは今年で8年目を迎えます。また、走行距離も通常の路線バスに比べて非常に長くなっているため、影響について情報を把握していきたいと思います。</p>
会 長	<p>くるりんばすの運行目的は明確になっていたと思いますが。</p>
事 務 局	<p>目的を持って運行していることは間違いないのですが、長期的に見たときに方向性についてを判断する機会をどのように持つかが定まっていないため、今後変更していくものなのか、それともこのまま行くべきものなのか、そうした点から改めて確認する必要があると考えています。</p>
会 長	<p>運行目的は、基本的には高齢者の方・自家用車の利用ができない方といった交通不便者の生活交通の確保、公共交通空白地の解消、公共施設への交通手段の確保でした。これまでこうした目的に沿う形で見直しを進めてきましたが、こうした大きな目的を見直す機会も必要なのではないか、ということかと思います。</p> <p>この目的が変われば当然計画も変わってくるということで、それが再編計画になるものと思います。</p>
委 員	<p>くるりんばすを始めた時の目的は福祉バスでしたが、平成20年度の見直しのときに都市バスの役割も加わったと認識しています。</p> <p>一番心配なのは、費用対効果について、コミュニティバスは元々利益を出す性質のものではないので、どのように判断するのか。非常に難しいです。</p> <p>また、路線の変更となると、すべてのODを把握しないとルートを変えることはできないと思うが、それを調べるには非常に経費がかかる。これも大変な問題だと思います。</p>
会 長	<p>目的としては変更していないと思いますが、運行は要望に応じて拡大してきたと思います。</p> <p>運行経費については、財政制約が大きくなってきている中で真剣に考える必要があるでしょう。ただし、他市町と比較して単純に多い少ないではなく、日進市としてどういう評価をするのかを考えましょう、ということだったと思います。</p>
委 員	<p>短期的評価として「需要に応じた車両選択になっているか」とありますが、車両は簡単に入れ替えができないということと、時間帯に応じて乗車数に顕著な差があるときに時間帯ごとにバスを入れ替えることは困難ということです。また、対応方針として路線存続の妥当性、としてあるので、毎年見直していくということもあると思いますが、路線の見直しというのは短期的には難しいと思います。</p>

発 言 者	内 容
事 務 局	ご指摘のとおりでございますので、評価の区分について再度検討します。
委 員	<p>くるりんばすは、制度としては円熟状態になっていると思います。今後は、限られた予算の範囲で可能な限り如何に経費を安くしていくかが課題になると思います。利用目的に応じて負担を上げて良いのかなと思います。</p> <p>また、現状のバス停は半径300mを基準に作られているということですが、今後高齢化が進む中で、その300mを歩いていくことができない人について、バスの利用を進める上でデマンドバスについても検討してはと思います。今後、導入に向けてこの会議で検討する上での課題などについても、この見直しの中にも含めてもらえたらと思います。</p>
事 務 局	<p>料金設定については、今後利用者の方のご意見をいただく中で財政状況も踏まえた上で検討していく必要があると考えています。デマンドバスに関しては、現在福祉部の方で、福祉有償運送についての検討が始まっておりまして、市役所の内部の問題ではありますが、こうしたバスの利用が難しい移動困難者の方に対してどのように支援していくかの役割分担を決めさせていただき、公共交通のセクションで担うべき役割を明確化した上で、どこまで寄り添えるのかについては、こちらの会議でもご議論をいただきたいと考えています。</p>
会 長	<p>1つ目のご意見は、長期的評価の「運賃体系の見直し」についてと思います。財政状況だけでなく、利用目的に応じて受益者負担を検討してはというご意見でした。</p> <p>2つめのデマンドの件は、「運行目的にあった対象者に利用されているか」という点だと思います。これに対する対応策は利用促進策、としか書かれていませんが、「違う運行形態の検討」や「他セクションでの支援」というものもあるということだと思います。</p>
会 長	こちらの見直しはいつ頃までに行う予定ですか。
事 務 局	今年度中、できるだけ早い段階を考えています。今期の会議は今回で終了となるため、10月以降に開催する次期会議への引継ぎ事項と考えています。
会 長	<p>現在、計画といえるものが明確に無い状況で、これをもって何を見直すのか、ということになりますが、少なくとも運行計画については見直しすることができるということです。ダイヤ、ルート、バス停の位置とかですね。でもそれだけではない、それ以外のものも踏まえながらこの見直しをどのように位置づけていくかご検討いただきたいと思います。</p>
(その他)	
委 員	<p>愛知県では現在エコモビリティライフ推進表彰の募集を行っています。車、自家用車と公共交通、自転車、徒歩等を賢く使い分けるエコモビリティライフ（エコモビ）の推進に取り組んでおり、愛知エコモビリティライフ推進協議会を設立し、様々な取組みを行っています。協議会ではエコモビの一層の普及定着を図るため、エコモビに関する表彰を行っており、平成25年度の表彰候補団体を募集</p>

発 言 者	内 容
委 員	<p>しております。表彰の対象者は所在地が愛知県内にある企業、市町村、教育機関、NPO、地域団体など。表彰の対象となる取組み・活動は、6ヶ月以上継続して行っているエコモビの推進に関する具体的な取組み又はエコモビの実践活動で、エコモビの普及啓発に関するもの、公共交通の利用促進に関するもの、パーク＆ライドの普及拡大などに関するもの、エコ通勤・エコ通学に関するもの、電車利用の推進に関するもの等が対象となります。</p> <p>応募方法については、エコモビのホームページに詳しく記載がありますが、こちらのホームページ又は「エコモビ 実践」で検索していただくと、エコモビの活動に関する紹介が載っておりますので興味がおありの方はご確認いただければと思います。</p>
事 務 局	<p>長久手市地域公共交通会議での協議内容についての結果報告です。前回の会議において承認をいただきました内容をお伝えしたところ、協議が調った旨のご通知をいただきましたのでご報告いたします。</p>
会 長	<p>以上で終了となります。皆様のご協力に感謝します。</p>
事 務 局	<p>今回をもちまして、2年の任期である今期の地域公共交通会議は終了となります。次回の開催の際には、新しい任期で改めて委嘱させていただくこととなりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>また、次期会議より、公募による委員を加えることとなっており、8月1日号の広報にっしんで募集させていただく予定となっています。なお、次回の会議は10月中旬以降に開催を予定しております。</p>
	<p>(閉会 11時30分)</p>